



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 ミツ星ペルト株式会社

コード番号 5192 URL <http://www.mitsuboshi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 垣内 一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 増田 健吉

TEL 078-685-5630

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	16,246	5.9	1,948	45.7	1,927	7.5	1,334	17.4
26年3月期第1四半期	15,337	14.9	1,337	△9.4	1,791	36.0	1,136	33.3

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,377百万円 (△39.9%) 26年3月期第1四半期 2,293百万円 (125.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	20.65	—
26年3月期第1四半期	17.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	78,726	51,516	65.4	797.34
26年3月期	78,576	50,721	64.6	785.02

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 51,516百万円 26年3月期 50,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,000	2.3	3,100	0.0	2,950	△15.6	1,950	△18.4	30.18
通期	64,000	0.5	6,400	4.5	6,000	△17.8	4,200	△11.0	65.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	71,208,397 株	26年3月期	71,208,397 株
27年3月期1Q	6,597,591 株	26年3月期	6,596,735 株
27年3月期1Q	64,611,006 株	26年3月期1Q	64,618,104 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動がありましたが、その影響は限定的と見られ、また、設備投資は企業の業績改善を背景とした増加基調にあつて、個人消費も底堅く推移したことから、緩やかな景気回復過程にあると見られています。海外経済は、米国・欧州の景気が緩やかに回復する一方、新興国の景気は弱含みで推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループはアジア圏を中心に販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高162億46百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益19億48百万円（前年同期比45.7%増）、経常利益19億27百万円（前年同期比7.5%増）、四半期純利益は13億34百万円（前年同期比17.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内ベルト事業〕

自動車用ベルトは、消費税増税により国内新車販売が落ち込むなか、メーカーの新型車種投入効果により、新車組み込みライン用の売上高が堅調に推移し、補修用ベルトも増加したことから、全体では増加しました。

一般産業用ベルトは、企業の設備投資の回復に伴って増加し、OA機器用ベルトはユーザの海外生産移管の流れが鈍化しつつあることから増加しました。

また、運搬ベルトは前年同期並みに推移し、合成樹脂素材は自動車関連部品が伸長したことから増加しました。

その結果、当事業の売上高は68億78百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は16億98百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

〔海外ベルト事業〕

欧米では緩やかな景気の回復により、自動車用・一般産業用ベルトの売上高はいずれも微増となりました。

アジアでは、一般産業用ベルトは、タイ国の政情不安などの影響により横ばいとなりました。一方、自動車用ベルトは中国やインドネシアを中心に補修需要を獲得したことから増加し、OA機器用ベルトも好調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は74億49百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は7億96百万円（前年同期比75.3%増）となりました。

〔建設資材事業〕

建築部門は、公共工事や民間の改修工事物件の売上高が前年同期並みに推移し、土木部門では廃棄物処分場関連の売上高が増加したことから、全体では増加しました。

その結果、当事業の売上高は9億43百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は37百万円（前年同期比671.1%増）となりました。

〔その他〕

その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は9億75百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は9百万円（前年同期比91.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末は、受取手形及び売掛金の減少等により流動資産が1億69百万円、有形固定資産が2億15百万円とそれぞれ減少したものの、株価の上昇に伴い投資その他の資産が5億34百万円増加したことから、総資産は前連結会計年度末比1億50百万円増加の787億26百万円となりました。

一方、負債は、流動負債が5億80百万円減少したことにより、前連結会計年度末比6億45百万円減少の272億9百万円となりました。

純資産は、四半期純利益等の計上により利益剰余金が7億53百万円増加した結果、前連結会計年度末比7億95百万円増加の515億16百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の64.6%から65.4%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、新興国・資源国の政治・経済情勢等に不透明感が漂い、また、イラク及びウクライナ情勢に緊張感が高まるなど、その動向は必ずしも楽観視できませんが、先進国を中心に景気が緩やかに回復していくとの観測が広がっています。また、国内でも、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が限定的であり、設備投資や個人消費が堅調に推移して景気は緩やかな回復を続けると見られています。このような状況を踏まえ、平成27年3月期の業績につきましては、平成26年5月14日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,326	15,906
受取手形及び売掛金	14,997	14,522
商品及び製品	10,640	10,436
仕掛品	1,444	1,625
原材料及び貯蔵品	2,337	1,999
その他	1,273	1,353
貸倒引当金	△81	△75
流動資産合計	45,939	45,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,869	6,715
機械装置及び運搬具(純額)	8,364	7,921
工具、器具及び備品(純額)	1,413	1,433
土地	4,258	4,249
建設仮勘定	214	586
有形固定資産合計	21,120	20,905
無形固定資産	79	80
投資その他の資産		
投資有価証券	11,135	11,670
その他	324	322
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	11,436	11,970
固定資産合計	32,637	32,956
資産合計	78,576	78,726

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,725	7,615
短期借入金	6,920	6,619
未払法人税等	1,207	337
賞与引当金	681	1,232
その他	3,632	3,782
流動負債合計	20,167	19,587
固定負債		
長期借入金	2,557	2,232
退職給付に係る負債	928	931
役員退職慰労引当金	20	21
その他	4,180	4,436
固定負債合計	7,686	7,622
負債合計	27,854	27,209
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	5,480	5,480
利益剰余金	35,708	36,461
自己株式	△3,414	△3,415
株主資本合計	45,925	46,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,708	6,053
為替換算調整勘定	△612	△927
退職給付に係る調整累計額	△300	△286
その他の包括利益累計額合計	4,796	4,839
純資産合計	50,721	51,516
負債純資産合計	78,576	78,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	15,337	16,246
売上原価	10,912	11,004
売上総利益	4,424	5,242
販売費及び一般管理費	3,087	3,293
営業利益	1,337	1,948
営業外収益		
受取利息	12	27
受取配当金	116	162
為替差益	309	—
その他	131	52
営業外収益合計	569	241
営業外費用		
支払利息	36	23
為替差損	—	175
その他	79	64
営業外費用合計	115	263
経常利益	1,791	1,927
税金等調整前四半期純利益	1,791	1,927
法人税等	655	592
少数株主損益調整前四半期純利益	1,136	1,334
四半期純利益	1,136	1,334

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,136	1,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	806	344
為替換算調整勘定	350	△315
退職給付に係る調整額	—	13
その他の包括利益合計	1,156	43
四半期包括利益	2,293	1,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,293	1,377
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,257	7,220	905	14,384	953	15,337	—	15,337
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,695	751	—	2,447	1,124	3,571	△3,571	—
計	7,952	7,972	905	16,831	2,077	18,908	△3,571	15,337
セグメント利益	1,447	454	4	1,906	110	2,017	△679	1,337

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△679百万円には、セグメント間取引消去△48百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△631百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,878	7,449	943	15,271	975	16,246	—	16,246
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,136	723	—	2,859	343	3,203	△3,203	—
計	9,014	8,173	943	18,131	1,318	19,450	△3,203	16,246
セグメント利益	1,698	796	37	2,532	9	2,541	△592	1,948

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△592百万円には、セグメント間取引消去44百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△636百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。